

平成 26 年 4 月 23 日

お客様各位

株式会社 山喜農園

新潟県魚沼市原 1280-1

TEL. 025-794-2455

FAX. 025-794-4168

E-mail: info@yamaki-noen.co.jp

HP Address. http://www.yamaki-noen.co.jp

球根情勢報告

平素よりお引き立ていただき誠にありがとうございます。

新潟県魚沼地方は、最近ではやや早い消雪となり、ようやく桜も咲き始めた所です。

地元北魚沼においては、5月連休くらいまで「山菜」の出荷がメイン。

「野菜生産流通不足」から高価値を期待していましたが、消費地での大雪の影響なのか2~3月は盛り上がり欠ける結果となった様です。むしろ4月以降の相場が安定していたとの事…。

花卉流通とはやや違った結果になっている様です。

今冬は、「球根不作・欠品」「百合輸送コンテナ海難事故」「関東甲信地区大雪被害」など、相手が「天候の為」打つ手はないのですが、大きな事件・事故が起きています。

非常に厳しい半年間でしたが、「雪国」の人間の「特長的」な考え方もかもしれませんが、「雪が消えて、今年も一から始まる…始める…」気持ちを切り替えて進んでいきたいと考えています。

13/14年 球根産アリス

日本全体での球根輸入量は増加しておりません。約13~14,000,000球。

昨年、10~12月採花分で、約850,000球全損に近い大きな事故が起きています。(これもコンテナ流通時の事故…。)年明け1月以降の生産流通には影響が出ないはずですが、シーズンを通して切花相場は安定していました。(高価くはないが、安過ぎでもない。)

*14/15年では、他の球根同様、種苗費は円安分+αくらいの値上がりとなるものの、「切花相場」がまずまずでしたので、増加傾向か?と思いましたが、13年産球根の作況の悪さから、入荷球数は前年並みを見込んでいます。

昨年末の大事故がない分だけ(そう願っています…)切花流通量は、横ばいからやや増加となると思います。

絶対の切花生産流通はピークから見れば1/3くらいまで減っている品目なので、切花流通に大きな波がなければある程度は計算できる品目に回復したのでしょうか?今の切花価格レベルで推移すれば、もう一段減少してしまう様な気もしていますが…。

13/14年 球根産/南半球産チューリップ

リーマンショック以降(2008年)の相場としては良い方の年だったと思います。

全農新潟の切花平均価格と埼玉県深谷地区共選切花価格がほぼ同一水準価格となるのは、何年振りでしょうか?

深谷地区の場合、雪害による大被害が発生していますので、儲かった年とは言えませんし、燃油代高騰・球根代UP等勘案すれば、相変わらずチューリップ切花は厳しい情勢の様です。

14/15年については、球根業者からは、「ヨーロッパで唯一調子の良い切花品目」との事で、「早めに球根を確保しろ」と言われております。

ずいぶん減ってしまった…。そろそろ底打ちとならないだろうか?

埼玉深谷地区における「雪害」の影響が残る品目だと考えています。

休眠打破遅れの為、切花農家・市場・花屋さんに対して、供給の不安定さという意味では極めてひどい年で、ものすごくご迷惑をお掛けした年となりましたが、球根品質クレーム額が例年比やや減少した事、

切花相場がますますだった事は、明るい材料だったように思います。

14年産の球根も本年以上の安定品質で供給できればと考えています。

13年産 国産百合

生産流通は減少しています。

球根品質についてはコメントするにはまだ早すぎなのですが、早掘/遅掘ともここまでの生育ステージではウイルス発症率は低く、まずまずの状況と言えます。(Plamvについてはまだコメント出来る生育ステージに至っておりません。)

14年産 国産百合球根

生産流通数は減少します。

コンテナ海難事故の影響を受けて、色物を中心に養成球が欠品してしまいました。結果生産量は減少します。

カブラナ養成球は欠品せず、12年産ラナダ産養成球の25~30%の欠品を勘案すれば、13年産ラナダ産養成球は、「納品されるべき産地」にちゃんとした球数が納品できている様に思います。

「14年産ラナダ産カブラナ開花球」は再び大幅に減少する様ですので、全体的にはバランスが取れて丁度良いのかな~と感じています。

13年産 南半球産百合球根

品質事故は、昨年比較で圧倒的に少ない。

生産の品質改善は予定/予測していた事とはいえ、「良かった」と思います。

Plamv・花ウイルス(シバリア/生産)・酸欠ブラックローズ・輸付き問題など、細かい事故は相変わらず確認されますが、近年では最も事故発生割合の少ない年となりました。

切花相場は…どうでしょう？

関わる切花農家の皆様の、ご自身の生産/販売方針をしっかり持たれる事の重要度が増しています。

「腰の据わった、ぶれない生産/販売」を、よろしくお願い致します。

14年産 南半球産百合球根

ここまでの所、球根生産地側から悪い情報は一切入ってきていません。作は良さそうです。あまり欠品しない年になってくれればと願っています。

深谷雪害の影響を大きく受ける品目ですが、日本全体での確保数は、さすがにL.Aは減少しますが、O.H/O.T系については昨年+αくらいの確保割合となっているとの事…。

球根価格は平均15%くらい上昇していると考えられます。上手な販売計画・生産計画を立てて頂きたいものです。

もしかしたら、O.H/O.T系百合すら、A.H/L.A系並みの数字管理が要求される時代に入ってきたのではないかと感じています。(計画生産・計画販売)

13年産 ラナダ産百合

欠品の多い年となりました。

OH/O.T系

入荷見込みは、MAXで日本全体では前年比でやや減少と考えています。

その後のコンテナ海難事故等勘案しつつ、予測される球根品質が「昨年より良い」という事はまだ言えませんので(どちらかと言うと、力が無い?)、国産O.H/O.T切花流通本数が増加する事はありえないだろうと考えています。

深谷雪害により、「キャンセル」となった球根はその大半がコンテナ事故の穴埋めという形で使われます。

A. H/L. A 系

元々日本全体では前年比 85~88% くらいの確保量でした。その後コナテ事故、深谷雪害等により、日本に入荷する予定球数はさらなる減少となっています。単年度の入荷減少割合は、かなり大きめに見えます。

深谷地区の切花生産量は少なくとも 14/15 年については過去 3 年間との比較で減少する事は明らかです。(数百万規模の減少…)

計画生産・計画販売・安定供給を実践・実行することにより、A. H/L. A 品目の切花消費を維持してくれてきた産地が揺らいでいます。

他産地が大幅に生産量を増やしてほしいという言い方は正しくなくて、「安定供給精度を高めていく事」。この品目はひたすらそこに尽きると思います。

皆で考えていきましょう！

14 年産 ㊦産百合球根

私が書いている情勢報告…もし昨年 5 月/6 月のレポートを覚えてくれていたら…。「生まれて初めてこんな畑を見た！」という表現がされていたと思います。

13 年産チュリップ 花芽の遅れ (2~3 週間)・アイリス球根の作況 10/11 サイズ・11/UP サイズでは、計画の 30~50% 減少・百合球根の欠品…。

13 年産㊦産球根はどの品目をとっても、良いものは一つも無い…と言っても言い過ぎではないのです。

これより悪くなることはない…そう思っています。

ちなみに球根定植環境・初期生育環境は、ここ数年間の中では「極めて順調」との事です。

Plamv 問題は、完全に解消されたとは言えませんが、12/13 年産に比べれば、相当良くなると思います。

13/14 年産南半球産百合球根、単年での球根価格上昇幅は、私の経験では過去最大の上昇幅となっています。

13/14 年産㊦産百合球根の価格上昇幅は、南半球産のそれと比べればいくらか狭いですが、やはり単年度の上昇幅としては昨年同様に大きめとなりそうです。(2 年連続です…)

A. H/L. A 系、O. H/O. T 系日本向け品種の生産量が減少しています。

中国・ベトナム・メキシコ・台湾 (やや回復基調…) で消費が伸びてきている品種は、球根価格が高めとなっています。

比較的安めの品種は、必要量全量近くご注文ください。比較的高めの品種は、良く検討してから買ってください。

球根価格を意識することは大切です。それでもご自身の営農や販売方針は、大きく変えるべきではないと思います。

球根流通情勢より、受注作業も発注作業もかなり速度感を持って行わなければいけない様です。

残念ながら、状況の厳しさからそれがまだ出来ていません。

追記

①百合切花輸入量が激減している。

1月～3月約50%減少（前年比）¥100-前後の輸入百合切花市場…。どうなるのか？興味深い。

②為替の問題はちょっと横において…、南半球産・オランダ産ともに生産地港渡し価格（FOB 価）が高止まっている。

どんなに中国やベトナム・メキシコといった新興マーケットが堅調とは言え、この14年産（FOB 価）は、世界市場に対して天井を付いていると思う。（シベリアは、球根農家の栽培原価ベースでは底値の様です…。）

どんな時でも高い球根と安い球根がありました。

切花販売環境は変わっても、球根生産農家の生産販売に対する考え方は、変わらないと思います。

13/14年の球根流通状況は、15/16年へと続いていくことはないだろうと思います。（ちょっとは下らないか？）

ちょっと大きめな変換期なのかなあ～。

③コンテナ事故では大変ご迷惑をお掛けしました。

3/9コンテナ分が欠品となりました。

6/9コンテナ分の検品はすべて終了し、納品を開始しています。

④関東甲信地区雪害について

ようやく復旧・復興に向けて前を見て進めていく雰囲気が出てきました。

道は険しいと思います。

球根屋の出来ることはなんなのか？切花農家と共に考えて進んでいきたいと考えています。

市場の皆様、他球根業社、他切花産地の皆様には大変ご心配をおかけいたしました。また様々なご協力を頂きまして、大変ありがとうございます。（国内での一部入荷不足となっている産地での穴埋めに使われた。）

輸出業社の皆様からも、被害を最小限に食い止める協力を頂きました。（幸か不幸か？国際的にはA.H/L.A球根が不足していた年だったので、キャンセルを受けやすかった様です。）

*ほぼ2か月の間

課長はコンテナ事故対策。部長は社内業務全般。私は深谷対策、及び14年産百合球根市場調査…と、これらの業務のみ集中していた状況でした。

通常ペースに戻すのにはもうちょっと時間が必要かもしれませんが、「雪も消えたし」、「6月のオープン」目指して頑張っていきたいと思います。（試験栽培No.3国産球根発芽速度調査の結果はすごい。オランダの球根農家にぜひ見せたい！）

不明な点等あれば、お問い合わせください。

以上 森山隆



<http://www.lily-promotion.jp/>

私共はLIPJの趣旨に賛同し
協力・応援しています